

全学共通教育についての自己点検・評価報告書（教育部会用）

教育部会名：「人間と社会」

部会長名：長谷川孝治

作成者名：長谷川孝治

概要（2000 字）

「人間と社会」教育部会は、地理学、社会学、文化人類学、社会思想史、教育学、環境学等の多様な分野から構成されるが、全体として教育の目的を従前から十分に達成してきており、前年度よりもさらに質を向上させてきている。

今回の自己点検・評価報告でも、実質担当教員 19 名のうち 9 名から総計 13 科目の授業科目について点検・評価作業の結果報告を受け、この点からも教員の教育に対する意識が極めて高いことが実証されているといえる。

個別の評価項目についての概要は以下の通りである。

(1) 授業内容が基礎となる研究の成果を反映したものとなっているか：

シラバスの講義概要にそれぞれ明記されるように、各授業科目における最先端の研究成果を学生に理解させることを各授業の第一目標としている。そのため多様な資料を配布プリントやパワーポイントで提示するだけでなく、ビデオ、OHP、OHC 等の情報機器を活用し、また Web サイトから最新資料を紹介するよう努めている。

(2) 単位の実質化への配慮：

各科目において出欠確認や定期試験のみならず、時間内にレポートや小テスト、感想文を課すことにより、学生の理解度、反応、意見をきめ細かくチェックする工夫がなされている。また教科書講読による事前・事後自習も奨励し、こうした多様な評価項目によって単位の実質化は十分に達成されているといえる。

(3) 教育の目的に照らしての授業形態の組合せ・バランス及びそれぞれの教育内容に対する適切な学習指導法の工夫：

授業科目の多様性に応じて、パワーポイント、OHP、OHC、ビデオ等多彩な情報メディアを駆使して指導方法を工夫している。また多人数授業であっても、レポート、感想文、フィールドワークなどで学生の理解度、意見を絶えずチェックして対話型授業を実践し、さらにプリント配布、機器設定、レポート点検などに T A を積極的に活用している。

(4) 成績評価基準に従った成績評価、単位認定：

シラバスに明記してある出欠、レポート、試験等の成績評価基準とその配分割合に応じて成績を総合的に判断し、出欠確認、定期試験、小テスト、レポート等で厳格に成績評価、単位認定を実施している。

(5) 授業評価等から判断しての教育の成果や効果：

学生授業評価において、ほとんどの科目が 5 点満点で 3.5 以上の評価を受けており、さらに一部科目は 4.5 以上の高評価であり、教育の成果や効果は十分に上がっていることが実証されている。

以上の観点からして、「人間と社会」教育部会の各授業科目では、教育の目的を十二分に達成し、さらに質的向上への努力を継続している、と結論づけることができる。

## 様式 2 (続き)

### 項目・観点ごとの記述

#### 基準 5 教育内容及び方法

5-1-②: 授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿ったものになっているか。

(観点に係る状況)

根拠資料

5-1-③: 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための基礎となる研究の成果を反映したものとなっているか。

(観点に係る状況) はい: 講義概要に明記されるように、各授業科目における最先端の研究成果を学生に理解させることを目的としており、そのために最新の Web 資料など多様な資料や情報機器を活用している。

根拠資料: シラバス、教科書、Web 資料、配布プリント、パワーポイント (スライド)、音声・映像資料 (テープ、OHP シート、OHC 等) など。

5-1-⑤: 単位の実質化への配慮がなされているか。

(観点に係る状況) はい: 出欠確認や学期末試験実施のみならず、多人数教育であっても時間内にレポートや小テスト、感想文などを課すことにより、学生の理解度、反応、意見をきめ細かくチェックする体制が整っている。またテキストで指示することによる、事前・事後自習を奨励している。

根拠資料: 定期試験答案用紙、出欠簿、小テスト・授業時間内レポート・授業感想文、など。

5-2-①: 教育の目的に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされているか。(例えば、少人数授業、対話・討論型授業、フィールド型授業、多様なメディアを高度に利用した授業、情報機器の活用、TAの活用が考えられる。)

(観点に係る状況) はい: 授業科目の多様性に応じて、多彩な情報メディアを駆使して指導方法を工夫し、また多人数授業でも、レポート、感想文、さらにはフィールドワークなどで学生の理解度、意見を絶えずチェックして対話型講義を心がけ、またプリント配布、機器設定、レポート点検などに TA を活用している。

根拠資料: パワーポイント、OHP・OHC、ビデオ等多様なメディア、TA 採用一覧、レポート・授業感想文、Web 資料、フィールドワーク報告書、インタビューデータなど。

5-2-③： 自主学習への配慮，基礎学力不足の学生への配慮等が組織的に行われているか。  
(観点に係る状況)

根拠資料

5-3-②： 成績評価基準に従って，成績評価，単位認定が適切に実施されているか。  
(観点に係る状況) はい：シラバスに明記してある出欠、レポート、試験等の成績評価基準に応じて総合的に評価し、厳密に成績評価、単位認定を実施している。

根拠資料：出欠簿、定期試験答案用紙、小テスト、レポート

#### 基準6 教育の成果

6-1-③： 授業評価等，学生からの意見聴取の結果から判断して，教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況) はい：学生授業評価において、ほとんどの科目が5点満点で3.5以上の評価を受けており、さらに一部科目は4.5以上の高評価であり、教育の成果や効果は十二分に上がっているといえる。

根拠資料：学生授業評価、感想文

#### 基準7 学生支援等

7-1-②： 学習相談，助言（例えば，オフィスアワーの設定，電子メールの活用，担任制等が考えられる。）が適切に行われているか。

(観点に係る状況)

根拠資料